

田園調布中だより

令和5年3月24日第12号
大田区立田園調布中学校

校長 木崎 正和

修了式講話より



新年度に向けて～良き伝統を引き継いで～

校長 木崎 正和

今日は、1年の締めくくりである修了式です。その前に、17日(金)は、4年ぶりに、1年生・2年生が出席した卒業式でした。3年生が自ら温かい雰囲気をつくり、思い出に残るとてもいい卒業式でした。

1・2年生には、新年度に向けてしっかり準備をして欲しいと思います。今年度も「生徒一人一人が夢や希望を描ける学校づくり」を目指して努力をしてきました。令和5年度も落ち着いた環境で、みんなが過ごしやすい田園調布中にしていきましょう。4月からは、それぞれが進級し、この学校の中心として、先輩たちが築いてきた良き伝統を引き継いでいきましょう。今の田園調布中に引き継がれている伝統とは、「授業を大切にしていること」・「学校行事や学年行事に一生懸命に取り組んでいること」・「朝礼や集会、避難訓練などで整然と整列ができ、人の話をよく聞くことができること」などです。これらは、先生方の指導のもと、生徒一人一人の努力で作りに上げていることばかりです。つまり、日々充実した学校生活の積み重ねが「伝統」に繋がっているのです。

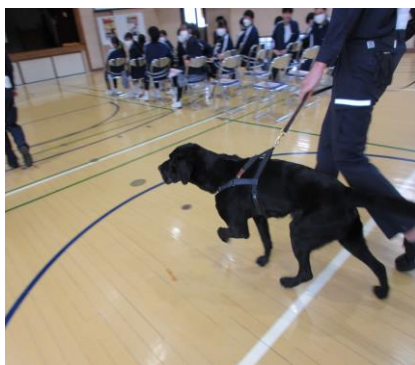
これから担任の先生方から、修了証と通知表が渡されます。この修了証により、今年度の全課程を修了し、4月からは新しい学年、新しい学級でのスタートになります。そして、通知表の担任の先生からの所見をじっくり読んで下さい。この1年間の成長やまだ不十分なところなど皆さん一人一人のさらなる成長を期待して心温まる文章が書いてあります。春休みに向けての心構えや最上級生(3年生)、中堅学年(2年生)に向けての具体的なアドバイスもあります。卒業式で、富塚千英さんが卒業生代表の言葉の中で、「いつも見守って下さった先生方へ。新型コロナウイルス対策と授業や学校生活を両立させることはたいへんだったと思います。そんな中で、授業だけでなく、私たちの意見や思いをくみとったり、悩みを聞いてくれたりしました。そうやって寄り添ってくれたので、勇気や自信、チャレンジする気持ちを持つことができ、私たちは大きく成長することができました。そのお陰で素晴らしい日々を過ごせました。本当にお世話になりました。ありがとうございました」と言っていました。とてもいいことを言ってくれました。胸が熱くなりました。田園調布中の先生方は、本当に生徒思いの熱い心のある先生ばかりです。皆さんのことを思っているがゆえに、時として厳しい言葉も出てきます。皆さんには、先生方のそのような思いにしっかり応えて欲しいと思います。

明日から春休みになります。春休みは短いです、有意義に過ごし、4月6日(木)の始業式に元気な姿で会いましょう。



薬物乱用防止教室(3年)

3月1日:羽田税関の職員と麻薬探知犬



3月4日:3年生を送る会



子どもを笑顔にするプロジェクト

3月2日:東京都交響楽団による演奏会を本校体育館で開催しました。



卒業式予行

3月15日:各種表彰と古尾谷会長より同窓会「緑友会」の説明をいただきました。



卒業式

